

広報

むらた

2019

1

No. 535

謹賀新年



【足立稲田姫神社神楽】

特 集

語り継ぎたいものがある
村田の伝説

未来へ向かって…



年頭のあいさつ

村田町長 佐藤英雄



新年あけましておめでとうございます。

町民の皆さんには、希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃町政に対し温かいご理解とご協力を賜り心より御礼

申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、全国的に猛暑が続き、埼玉県熊谷市では5年ぶりに国内の最高気温を更新する41・1度を観測したほか、仙台市でも37・3度を観測しました。

また、自然災害の発生が相次ぎ、7月には、西日本豪雨が発生し、大雨特別警報がこれまでの最多となる11府県に発表されるなど、西日本を中心に豪雨災害としては稀に見る規模の人的被害と建物、公共施設の被害をもたらしました。さらに、9月6日には、北海道胆振地方中東部を震源とした最大震度7の地震が発生しました。この北海道胆振東部地震につきましては、対口支援として宮城県に北海道むかわ町が指定されましたので、本町からも職員を派遣し、被災地支援にあつたところですが、これらの被災地における一日も早い復旧・復興を祈念する次第です。

明るい話題としては、仙台市出身の羽生結弦選手が2月に開催された平昌五輪でフィギュア男子66年ぶりの五輪2連覇を成し遂げました。また、同じく仙台市出身の張本智和選手が卓球グランドファイナルで史上最多で初優勝を果たすなど若者の活躍に日本中が笑顔と感動に包まれました。

このような中、本町においては旧大沼家住宅（村田商人やましよう記念館）が、8月17日付けで、国的重要文化財に指定されました。もちろん町内では初めての重要文化財指定で



あり、商家建築としては県内で唯一のものとなっています。また、英国フリントシャーと友好姉妹都市を締結してから30周年を迎える、表敬訪問の中で、平成の時代とともに多くの青少年が相互理解を深め、築いてきた友好をさらに次の未来へ前進することを確認してまいりました。

迎えた本年は、協働の町づくりへの確実な前進と、本町ならではの教育体系の充実と、そして町民の皆さんとともに学び、働き活気と元気を創り出し、さらなる町の活性化を前進させてまいります。

町民の皆さんの満足、幸福につながる地域づくり、商業の活性化と新たな農業の基盤づくり、子どもたちの元気な声、若い人たちが夢を抱いて学ぶ姿、大人たちが家族のために生き生きと働く力強さ、高齢者の方が生きがいを持って地域に参画する風景、このどれもが将来の村田町には必要です。

本年中には県道岩沼蔵王線の志賀姥ヶ懐トンネルを含む改良工事も供用開始となり、また、東北自動車道菅生パークイングのスマートインターチェンジ設置工事、都市計画街路小池石生線のバイパス化工事も着工が予定されています。これらの新たな交通ネットワークを生かし、インバウンドをはじめとする交流人口の確保と若い方が夢に向かってチャレンジする起業や創業による活力づくりへ取り組みながら、地方創生と新たな価値を創生しなければなりません。

本町にはすばらしい歴史的・文化的遺産や社会的資源があります。本年も多様化する町民のニーズや時代の変化を捉えた新たな施策の進展を図るとともに、町民の安全・安心な暮らしを守ることはもとより、新たな可能性を切り拓くことができるまち、そして元気で煌めくまちむらたをオール村田を目指してまいりますので、一層のご理解、ご協力を願い申し上げます。

結びに、皆さまにとりまして健康で幸多い一年でありますようご祈念申し上げ、新年のあいさつといたします。



特集

語り継ぎたいものがある

村田の伝説

私たちが生まれ育った村田町には遠い昔から語り伝えられてきた伝説がたくさん残されています。

楽しいお話、悲しいお話、不思議なお話、一人では聞けないような怖いお話など…。

幼い頃、おじいさん、おばあさんが話してくれたお話を、幼き日の記憶とともにになつかしく思い出されます。

こうして語り伝えられてきたお話は、昔の人たちの教えや願いが込められ、その時代の人々のころを深く感じとらせてくれたり、感動を与えてくれます。

そこで今回は、各地区に残つて いる伝説をいくつか紹介します。

ふるさとに伝承されてきた伝説。私たちの祖先が遠い昔どのよう な暮らしをし、そして何を考えていたのか、そんな思いを胸にふるさとの伝説をたどり語り伝えたいのです。

村田の伝説

おう しゅう じや ふじ
奥州の蛇藤



▲源 義家



▲蛇藤（白鳥神社）

今から900年ぐらい前、奥州で勢力をふるった豪族と、奥州を支配下におくとする朝廷の軍との戦いがはじまりました。ある日、朝廷の将軍「八幡太郎義家」が村田付近で敵軍に包囲されたとき、白鳥神社の藤の木が二匹の大蛇となり、敵を追い散らしたといわれています。

源義家は、源頼義の長男で岩清水八幡宮で元服したため、八幡太郎と呼ばれていました。前9年・後3年の役の活躍を通して、義家は「天下第一武勇之士」と評されるようになりました。このため義家についての伝説は多く伝えられています。康平5年9月、頼義は安倍貞任のこもる衣川の柵に攻め寄せました。柵を捨てて逃れようとする貞任を追い詰めた義家が「衣のたてはほころびにけり」と詠んだところ、貞任は振り向いて、「年をへし糸のみだれのくるしさに」と上の句をつけました。思わず貞任の風流に感じ入った義家は、つがえていた矢を放して貞任を見逃したといいます。厨川の戦いで敗れた宗任が、捕虜として都へ連れて行かれたとき、藤原光頼が「蝦夷の人であれば教養のない野蛮人であろう」と思い、梅の花を見せて何の花であるか尋ねたところ、宗任は、「我が国の梅の花とは見たれども 大宮人は如何にいふらむ」と和歌をもってこれに答えました。周囲の者はいたく感心し、光頼は恥じて退いたといわれています。



うば　が　ふところ　わた　なべのつな
姥ヶ懐と渡辺綱



▲渡辺 綱と鬼婆



▲鬼のミイラ（村田町歴史みらい館）

村田町の姥ヶ懐地区には、渡辺綱と鬼にまつわる伝説があります。

渡辺綱が京都の羅生門で鬼を見つけ、その右腕を斬ると鬼は逃げてしまいました。その後、綱は斬った腕を石の長持に隠し、鬼を探して各地をめぐり村田の姥ヶ懐までやってきました。

鬼は綱が姥ヶ懐までやってきたことを知り、腕を取り返そうと綱のおばに化けて「今、世間で評判の鬼の腕を見せてくれ」としつこく頼み、綱がやむなく長持のふたを開けた隙に右腕を奪い、自在鉤を伝って屋根の煙出もつけなくなったと伝えられています。

ところで「手掛け石」にはもう一つ伝説があります。姥ヶ懐に住んでいた姥が金太郎を背負って川に行き、その帰りに坂を登っていると、金太郎があまりに重いのでそばの石に手を掛けたところ、その石に手の跡がついたという伝説です。

2月は節分がありますが、姥ヶ懐の人々は、豆をまくときも「鬼は外」とは言わなくなったりといわれており、「福は内 鬼も内」といって、鬼を退治するそうです。

村田町では平成28年に「2016 みやぎふるさとCM大賞」において、【鬼伝説が残る町】のタイトルで出品しております。村田町のホームページで視聴することができますので、ぜひこの機会にご覧ください。



ほてい ばやし 布袋囃子のなぞ



▲平 敦盛



▲蔵の町むらた 布袋まつり

たいらのあつもり

源平の合戦のさなか、一の谷の合戦で討死した平敦盛という若武者がいました。敦盛は笛の名手として敵方源氏にも知れ渡るほどでした。

村田町の代表的なお祭「布袋まつり」で奏でられる布袋囃子の笛の音は、敦盛が好んで吹いていた曲を、村田の郷に逃れてきた平家の落武者によって伝えられたものといわれています。

敦盛の持っていた笛を「青葉の笛」というのは俗説で、敦盛が持っていたのは「小枝」という名であったことは、「平家物語」その他によって明らかになっています。現在兵庫県の須磨寺に、敦盛の遺物と伝えられる青葉の笛が寺宝として保管されていますが、須磨寺の記録「當山歴代」では青葉の笛は「小枝笛」と記されています。この小枝笛が青葉の笛と呼ばれるようになったのは、世阿弥の謡曲「敦盛」に、「小枝蟬折さまざまに、笛の名は多けれども、草刈の、吹く笛ならばこれも名は、青葉の笛と思しめせ」という文句からであるといわれています。

今回特集した内容について、鬼のミイラやむかしばなしの本など村田町歴史みらい館に取り揃えていますので、ぜひ足を運んでみてください。



【問】村田町歴史みらい館

☎ 83-6822

開館時間：午前9時～午後5時

(展示室の入室は午後4時30分まで)

休館日：月曜日

(祝日の場合は開館、翌火曜日休み)

観覧料：無料



大

宮重雄さんが 藍綬褒章受章



平成三十年秋の褒章において、保護司の大宮重雄さん（荒町）が、多年にわたる保護司活動への貢献が認められ、藍綬褒章（更生保護功労）を受章されました。



現在に至るまで、二十二年の長きにわたり、保護司として、罪を犯した人や非行に走った少年の立ち直りの援助や助言を行うなど、更生保護活動に尽力されており、日々安全安心な地域づくりのために活動されています。

平

成三十年度 文化財保護功労者受賞



第六十八回全国小・中学校作文コンクールにおいて、村田小学校四年生の石垣遙翔くん（菅生上）がJR賞を受賞しました。毎年夏休みに会いに行くポニーの「こすけ」との思い出を綴った作品となつており、応募のきっかけは「全國で自分の力を試してみたかったから」とのことです。来年の夏も、今回の作文と大好物のにんじんを持つて、「こすけ」に会いに行くそうです。

全

国作文コンクールで JR賞を受賞しました！



大河原消防署村田出張所に新しい救急車が配備されました。内装の設備も新しくなり、心電図や車内カメラで撮影された動画がみやぎ県南中核病院にリアルタイムで転送される装置も配備されています。救急車や救急医療は、限りある資源です。みんなで上手に利用し、今後ともスムーズな救急活動が行えるよう、救急車の適正利用にご理解とご協力をお願いします。

新

しい救急車が 配備されました



村

田二中で 「人権教室」を開催



十一月十四日、村田第二中学校で、スマホ・ケータイ安全教室と人権教室を合同で開催しました。NTTドコモの方から、スマートフォン・携帯電話の危険性や、安全に使用する方法について、映像を交えながら、講義を受けました。また、人権擁護委員から、相手を思いやり、人権を大切にして欲しいとお話しがありました。生徒達は、身近に起る問題として、真剣に聞き入っていました。

家

家庭教育学級を開催しました！



十一月二十八日、沼辺幼稚園園保護者を対象に家庭教育学級を開催しました。稻田大学人間科学学術院招聘研究員吉村真由美氏を講師にお迎えし、正しい靴の履き方や選び方、足に合わない靴を履くことによる弊害などについて学びました。子ども们何気なく履かせていた靴について考え、靴に対する意識が大きく変わる機会となりました。

夢

の教室が 行われました！



十一月二十九日・三十日に、村田第一中学校と村田第二中の教室が開催されました。夢先生として、四百mハーフのオリンピック強化指定選手として活躍された秋本真吾氏を講師に迎え、実体験に基づく授業が行われました。両校の生徒は、夢の実現に向けて努力を重ねたプロスポーツ選手の話に真剣に聞き入っていました。

く

「くらりんハウス」が プレオープン



十二月一日に五十人の参加者のもと、村田町中央公民館前の以前喫茶店を営まれていた場所を会場として、「くらりんハウス」がプレオープンしました。くらりんハウスは、地域の方や子ども達が集つて団らんできるような共生型の子ども食堂として「ボランティアグループ」「みらい」の方々が設立したものです。毎月第四土曜日の開催を目指して、次回は一月二十六日を予定しています。



第
二回天体観測講座を開催しました！



十二月一日、中央公民館で会場に第二回天体観測講座を開催しました。参加した小学生は、東北福祉大学の小石川秀一先生にご指導いただき、星座表と移動式プラネタリウムを使って星の学習を行いました。

十二月一日、中央公民館で会場に第二回天体観測講座を開催しました。参加した小学生は、東北福祉大学の小石川秀一先生にご指導いただき、星座表と移動式プラネタリウムを使って星の学習を行いました。

ま
ちづくり懇談会



十月二十三日から十一月八日にかけて、町内七会場の公民館で、まちづくり懇談会『移動町長室』を開催し、延べ百二十名が参加されました。今回のまちづくり懇談会は、第一部「町政報告」第二部「地域コミュニティの活性化について」と、その中で紹介があつた避難所運営ゲームを体験しました。その後、情報交換会や武家屋敷「旧田山家」の見学を行いました。

十月二十三日から十一月八日にかけて、町内七会場の公民館で、まちづくり懇談会『移動町長室』を開催し、延べ百二十名が参加されました。今回のまちづくり懇談会は、第一部「町政報告」第二部「地域コミュニティの活性化について」と、その中で紹介があつた避難所運営ゲームを体験しました。その後、情報交換会や武家屋敷「旧田山家」の見学を行いました。

田町婦人団体連絡会研修会を開催しました！



十一月八日、中央公民館で村田町婦人団体連絡会研修会を開催しました。生涯学習課職員による講話「地域活動について」と、その中で紹介があつた避難所運営ゲームを体験しました。その後、情報交換会や武家屋敷「旧田山家」の見学を行いました。

十一月八日、中央公民館で村田町婦人団体連絡会研修会を開催しました。生涯学習課職員による講話「地域活動について」と、その中で紹介があつた避難所運営ゲームを体験しました。その後、情報交換会や武家屋敷「旧田山家」の見学を行いました。

地
域の活性化を目指して清掃活動を行いました



村田町建設職組合では、六年ほど前から清掃活動を行っており、年に二回春と秋に分けて清掃活動を行っています。今年の秋に行つた活動では、道の駅むらたから村田町内を中心のごみ拾いを行いました。清掃時には、たばこの吸い殻や空き缶等回収しました。

村田建設職組合の方からは、「このような地域に貢献できる活動を継続して、今後も地域の活性化に努めていきたい」との声が寄せられました。

村

田町スポーツ少年団 交流大会を開催しました！



十二月八日、町民体育館で
村田町スポーツ少年団交流大
会を開催しました。
集まつた七十七人の団員は、
寒さに負けず、汗をかきながら
体力測定や綱引き大会を楽し
みました。種目や学校、学年
といつた垣根を超えて、笑顔
あふれる交流会となりました。
また、七名の団員が優秀
団員として表彰されました。
団員の皆さん、これからも
スポーツ少年団活動を頑張っ
てください！



▼結果		▼結果	
優勝	TEAM GRACE	準優勝	BlaZe
三 位	小泉ユニティ (大河原町)	三 位	フリーダム (村田町)
村田ヒーローズ (村田町)	角田市	EAST	Blaze
準優勝	MAXレンジャー (村田町)	三 位	LUSH
三 位	南原前 (大河原町)	Aブロッカ	前川ロックファイターズ (大河原町)
三位	ホープズ (柴田町)	Blaze	フリーダム (村田町)

まちのスポーツ

村田町ビニールボール協会か らのお知らせ

十一月二十五日、村田町民
体育館を会場に、第三回ビ
ニールボール村田町交流大会
が開催されました。当日は、
町内外から十六チームが参加
し、白熱した試合を繰り広げ
ました。

大会結果は次のとおりです。
（敬称略）

平成三十年 第二十四回
村田・柴田・大河原三町交流
家庭バレーボール大会
十一月十八日、大河原町総
合体育館を会場に開催された
この大会に二十四チームが参
加し、熱戦を繰り広げました。
結果は次のとおりです。
（敬称略）

善意の寄附

特定非営利活動法人「むら
た藏わらし」様より、昨年で
第十八回を迎えた陶器市の収
益の一部の中から、図書の贈
呈七十九冊（十一万円相当）
の図書を子どもたちの読書活
動の一助になり、全町の皆さん
が利用していただけるよう
に、村田町歴史みらい館へ
寄贈していただきました。村
田町への応援ありがとうございました。



宮城交通グループ バス運転士・バス清掃員募集中

募集職種：①路線バス運転士（正社員） ②バス清掃員（臨時契約）
勤務地：①村田町、白石市、名取市 ②村田町
勤務時間：①実働8時間、②実働3時間
休日：①週休2日制（休日出勤有） ②週3日（火・金・土）
基本給：①171,000円、②一台400円～800円
その他：大型二種免許支援制度（運転士対象）
運転士の条件：社会保険完備、退職金制度、賞与年2回支給
【問】株式会社ミヤコーバス本社採用担当 TEL：022-771-5311
《受付時間》月～金 9:00～18:00



～健やかで幸せな食卓を～ 体にやさしい健幸レシピ

健康な体づくりに日々の食事は欠かせません。生活習慣病の予防、体力の維持・向上、質の良い睡眠。あらゆるところで食が関わります。健幸レシピをヒントに健やかな毎日を過ごしましょう。

1月のテーマ 「がん予防」

野菜の豆乳味噌ソース焼き（2人分）

豆乳味噌ソース	しめじ	1袋
無調整豆乳 300ml	にんじん	1/2本
長ねぎ 1/2本	ブロッコリー	4房
みそ 小さじ2	にんにく	1かけ
塩・こしょう 少々	油	大さじ1/2
小麦粉 大さじ3	ピザ用チーズ	20g
油 大さじ1/2		

作り方

- 長ねぎはななめに薄切りにして大きさ1/2の油で炒め、しんなりしてから小麦粉をふり入れる。粉っぽさがなくなるまで炒めたら豆乳を入れ、混ぜながらとろみがつくまで弱火で煮る。みそを溶きのばして加え、塩とこしょうで味をととのえて豆乳ソースを作る。
- しめじは石づきをとり小房にわけ、にんじんは2～3mm幅のいちょう切り、ブロッコリーは食べやすい大きさに切る。
- フライパンに大きさ1/2の油と薄切りにしたにんにくを炒め、香りが出てきたらにんじん、ブロッコリー、しめじを炒める。
- 耐熱容器に③を入れ、豆乳ソースをかけてチーズをのせ、オーブンまたはトースターで焼き色がつくまで焼く。

～「がん予防」の一言メモ～

がん予防には運動や食事、禁煙など様々な生活習慣が関わります。

日々の食生活では、動物性のたんぱく質や脂質の食事に偏らないように、豆腐や納豆など植物性の食品もとることを意識したり、350g以上を目標に野菜を積極的に食べたりすることが大切だといわれています。

今回のレシピは牛乳の代わりに豆乳を使ってソースを作ります。豆乳の独特な風味も味噌が入ることで気になりません。また、にんじんやブロッコリーは体の細胞を健康に保つ抗酸化ビタミンを豊富に含んでいます。

栄養成分（1人分）：292kcal たんぱく質 12.3g 脂質 15.1g
食塩 1.4g 野菜の量：130g



～保健推進員のおすすめポイント～

豆乳ソースのねぎと味噌の風味が冬野菜によく合います。好みの野菜で簡単に出来るので、子どもたちや家族にもおすすめです。やさしい豆乳ソースで体もほっこり温まります。

（沼田地区：遠藤洋子さん、千塚地区：佐々木裕子さん）



[問] 保健センター 83-2312

ぶれあいひろば



このページは、町民の皆さんができるページです。

□連絡先/総務課 総務班 ☎83-2111

「らくがきコーナー」は、黒色のサインペンやボールペンを使って、はっきりと描いてください。（ペンネームだけでなく、住所や氏名、行政区もきちんと書いてね。）「町民文芸」も募集中です。初投稿の方も大歓迎です！
※投稿作品が多い場合や投稿内容によっては、総務課で掲載作品を選ばせていただきます。

（町民文芸）

俳句

初雪や 婆の真新な 赤い靴
小鳥来る 野菜を運ぶ 猫車
捨てられし 桶にひしめく 初氷

鈴木
恵子